

# 議員定数に関する特別委員会記録

令和7年11月 6日（木）  
6階 第1委員会室

出席委員（8名）

子 瓢 敏 人議員	増 崎 俊 宏議員
国 松 まさき議員	しょうじさとし議員
たばた あづみ議員	辻 よし子議員
中 村 一 広議員	中 村のりひと議員

議 長

臼 井 建議員

議会事務局出席職員

議会事務局長	大久保 学君	議会事務局次長	吉 崎 淳 二君
議事係長	野 口 咲 子君	議事係	星 野 千 愛君

午後 3時35分 開会

○委員長（子籠敏人議員） では、ただいまから議員定数に関する特別委員会を開会いたします。

本日、議長が出席しておりますので、御報告いたします。

ただいまの出席委員は8人全員であります。定足数に達しておりますので、本日の会議を開きます。



○委員長（子籠敏人議員） それでは、日程に従い進めさせていただきます。

日程2、協議事項、(1) 報告書についての件を議題といたします。

これについては、前回の委員会を受けて、今日、皆様のほうに事前に報告書の案文をお渡しさせていただいておりますので、それを見ながら順次気になるところとかをお伝えいただいて、仕上げの作業とかにつなげていきたいと思います。

皆さん、お手元に資料をお持ちだと思いますので、表紙、目次とあって、早速、1はじめにの部分から具体的な文章が始まりますので、そこについて順番に気になるところを今日は言っていただこうかなと思います。

まず、1のはじめにのところで、ここをこうしたほうがいいのではないか等々の御意見がありましたら、どなたでも結構ですので出していただけたらというふうに思います。どうでしょうか。

辻委員、どうぞ。

○委員（辻よし子議員） はじめにのところの3つ目のパラグラフですね。第3段落目のところの、これに対し、令和7年1月29日付で市長から、議員報酬を引き上げる旨の回答があったほかとあるのですけれども、これは議会からあきる野市特別職報酬等審議会に諮詢してくださいということに対して、これに対してというふうに受けているので、ここの文章は、令和7年1月29日付で市長から、あきる野市特別職報酬等審議会の答申を受け、議員報酬引上げの条例案を議会に諮る旨の回答があったほかといったような、このとおりでなくともいいのですけれども、そういう形に直したほうがいいのではないかと思います。

○委員長（子籠敏人議員） ありがとうございます。

今の辻委員からの御発言の件について、皆さんどうですか。大丈夫そうですか。いいと思いませんか。

では、その点を踏まえて、ちょっと直しをするというふうな方向にしましょうか。

ほかのところで気になる点とかがある方、さらにいらっしゃったら御発言いただいてもいいでしょうか。

たばた委員、どうぞ。

○委員（たばたあづみ議員） 最後のほうですね。一定の方向性が示されたというのは、若干ちょっと私、引っかかりは感じるのですけれども、みんなでいろいろ話し合いながら、いろいろばらばらだったところを少しまとめていったという意味ではそういうことなのかなとは思います。そこがもうちょっと話し合った結果というのが伝わりやすくなるように、その前の文章の計●回にわたり委員会を開催しで1回切ってしまって、開催したで丸にして、その後、協議ではなくて、熟議を重ねた結果、議員定数の在り方について一定の方向

性が示されたことからというふうにすると少し伝わりやすくなるかなというふうに思います。

○委員長（子籠敏人議員） ありがとうございます。

今、たばた委員からお話があった点については、皆さんどうでしょう。もう一回確認で。

○委員（たばたあづみ議員） 開催したで1回切ります。熟議を尽くした結果という形にすればいいかなと思います。

○委員（中村一広議員） 結果、議員定数の在り方につながるように。

○委員（たばたあづみ議員） はい。

○委員長（子籠敏人議員） どうでしょう、皆さん、よろしそうですか。

では、そのような方向でいきましょう。

ほかに1のはじめにのところはどうでしょう。大丈夫そうですかね。

（「はい」と発言する者あり）

○委員長（子籠敏人議員） では、次は2の議員定数に関する特別委員会設置について、これは本会議で設置されるときの内容を持ってきたものなのですけれども、ここは特段何かあったりしますか。大丈夫そうですかね。

（「なし」と発言する者あり）

○委員長（子籠敏人議員） では、2はそのままでいかせていただいて、3の検討結果のところに移りましょう。ここで気になるところとかがある方、言っていただいていいでしょうか。

辻委員、どうぞ。

○委員（辻よし子議員） ちょっとこの辺の文章が分かりにくいので、2行目のところですけれども、その一方で、議員報酬の全体額をというのを、ここに全体額というのを入れていただいて、全体額を増額前に戻した上で、現状の定数を維持することが望ましいとの意見や、その後を少し削除して、1人増員し、22人に対することが望ましいとの意見があったにしたほうがすっきりするのではないかと思います。

今、意見やか、意見とか、どっちがいいのか分かりませんけれども、現状の定数を維持することが望ましいとの意見と、それから、1人増員し、22人に対することが望ましいとの意見があったのほうがいいですかね。そのほうがいいのではないかと思います。

○委員長（子籠敏人議員） ありがとうございます。

どうでしょう。皆さんの的にもそのほうがすっきりめで分かりやすくなりますかね。

（「はい」と発言する者あり）

○委員長（子籠敏人議員） 分かりました。

事務局、大丈夫。局長、あればどうぞ。

○議会事務局長（大久保学君） 全体額を戻した上で、現状維持と1人減らす。

○委員（辻よし子議員） 1人増員。

○議会事務局長（大久保学君） 1人増員ですよね。現状額に戻した上でだと、要は21人分の全額が元に戻る。で、現状維持。1人増やす分というのは、そこでまた現状額を戻した上で1人増やすと、1人分増えちゃうんじゃないのというふうに。

○委員（辻よし子議員） そういうふうに思えちゃう。

○委員（たばたあずみ議員） 議員報酬の全体額を増額前に戻してだから、全体額。

○議会事務局長（大久保学君） 全体額を戻して。

○委員（辻よし子議員） 全体額は変えずにということですよね。

○議会事務局長（大久保学君） 変えずにだけれども、ただ、戻して全体額を変えずというと、元の総額は固定ですよね。ただ、そこで1人増やすとなってしまうと。

○委員（辻よし子議員） 報酬が減るんです。

○委員長（子籠敏人議員） 発言する前は手を挙げてね。

たばた委員、どうぞ。

○委員（たばたあずみ議員） もしも上でという話にすると、増額前に戻した上で、今の直し方で私、いいかなと思ったのですけれども、戻した上でだと、1回戻す。で、その後に今までどおりなのか、1人増やすだと、1人増やした分が増えちゃうという読み方をされるということを心配するのであれば、上でではなくて、やはり戻しつつとか、上でって1回やったその後で何か加える形になるのかなというふうには思います。私も最初そういうふうに読んだので。

○議会事務局長（大久保学君） その額に対して。

○委員（たばたあずみ議員） 戻しながらとか、戻しつつみたいな、戻したのはそのまま維持するんですよというところが伝わるようにする必要があるのかなというふうには思いました。

○委員長（子籠敏人議員） 辻委員、どうぞ。

○委員（辻よし子議員） そうすると戻しつつということですか。

○委員長（子籠敏人議員） そうしたら今、何人かの方から出た点を踏まえて、もう一回案文は考えますので、最初の御発言からすると、なるべく今よりもすっきりめにと。あまり重複した書き方にならないほうがいいのではないかというような御提案から始まったと思うので、ただ、することによって、誤解を与えてしまうような表現、また違うように読み取れるようなことになってもよろしくないので、その点踏まえつつ、少し局長はじめ事務局のみんなからもアイデアをもらいつつ考えますので、そのようにさせてください。

ほかの点で3のところはあったりしますか。ほかの点のところは大丈夫そうですか。

（「なし」と発言する者あり）

○委員長（子籠敏人議員） ということで、今日のところは、3の検討結果のところは以上としましょう。

次の4の検討結果に至る経過のところで気になる点、皆さんのが載せてありますので、その辺意見出させていただけますでしょうか。

ちなみに、皆さんに今お配りしている案文の中では、分かりやすいように網かけになっていますが、それぞれの委員の方の発言として分かるように、いろいろなコメントの前に誰々委員というふうに振ってありますけれども、この網かけの部分は、最終的な成案になる段には、委員名のところは削除した上で、フラットに読めるようにしようとは思っていますので、その点は踏まえていただいた上で御意見いただければと思います。

辻委員、どうぞ。

○委員（辻よし子議員） それでは、4ページの2つ目の辻委員のところなのですけれども、

5、5、5、5のところで私が述べたのが、負担が大き過ぎると考えるというよりかは、1人だけ発言の機会とか視察の機会が多くなってしまうことが、公平性の観点から問題あるのではないかというのをどこかで言っていると思うので、そこの部分をむしろ挙げていただきたいと思いますので、そのように変更していただけないでしょうか。

○委員長（子籠敏人議員） 分かりました。

ほかにも同じような思いとかをお持ちの方がいるかもしれない、どうぞこの際出していただければと思います。

しょうじ委員、どうぞ。

○委員（しょうじさとし議員） 案文をありがとうございました。私も辻委員が今おっしゃられたように、4ページのウのところなのですけれども、確かに載っている部分も発言してはいるのですけれども、より自分が重点を置いたところが、議事録に沿って載せていくべきだと思うのですけれども、そういう形が取れればいいなと思っています。

○委員長（子籠敏人議員） 具体に言ってもらえると。一応お分かりのように、皆さん発言された議事録から拾ってはきてるので、この内容もお話しにはなっていると思うのですけれども、その中でも、先ほどの辻委員みたいに、このことも話しているけれども、ここよりもこっちの内容のほうが書いてほしいんだと。

○委員（しょうじさとし議員） 先ほどというか、この全体を見て、委員長が、各委員に公平性があるようにボリュームとかを一定程度にしていただいていると思っているので、その中で変えることができたらなと思うのですけれども、例えば私では、4常任委員会と主張するときに、専門性が高まることであったりとか、逆に、あきる野市にとっての特徴は何んだろうみたいな議論を踏まえたときに、より細分化した4常任委員会がいいんじゃないかなみたいなことも発言させていただいたので、そういったことを議事録を踏まえながら、また、さっきお伝えしたボリュームに気をつけながら、御提示させていただけたらと思います。

○委員長（子籠敏人議員） 分かりました。

ほかの方とかはどうでしょうか。たばた委員、どうぞ。

○委員（たばたあづみ議員） まだ全部の議事録とかを自分でも読み返しながらやっているわけではないので、できれば1回議事録に目を通しながら、自分で、せっかく言っていたのに忘れてはいたところとかがあるかもしれない、そういうところを少し拾い出せればいいなと思っています。なるべくそんなに増えない形でですけれども、ぜひそこを検討させてください。

○委員長（子籠敏人議員） ほかの方とかはどうですか。中村一広委員、どうぞ。

○委員（中村一広議員） 委員長と事務局の皆さんに御苦労いただいて、よくまとまっていますので、私はこのままでもいいのかなというふうに思っております。

以上です。

○委員長（子籠敏人議員） 辻委員、どうぞ。

○委員（辻よし子議員） この委員会の中でアンケートのことも検討したと思いますので、アンケートの部分を、こういう形のアンケートも考えてみたけれども、こういうことが障害になって、結局やらないことになったみたいなことをどこかに入れていただきたいと。

入れるとしたら（3）の前になるのかなと思いますので、あまり長くならない程度に、そこにアンケート調査の検討についてとかそういう形で入れていただきたいと思うのですけれども、いかがでしょうか。

○委員長（子籠敏人議員） 中村一広委員、どうぞ。

○委員（中村一広議員） アンケートについてなのですが、実施に最終的には至らなかつたという部分もあるので、どなたかの委員の中の意見にそれを入れ込むというのはどうなんでしょうかね。議論はしましたが、最終的に、それを形に結果としてやりましたというのであれば、括弧書きで項目をつくって入れるというのがいいと思うのですが、至っていない部分があるので、そこら辺の部分はどなたかの意見のところにもしあれだったら盛り込んでいただくようなことというのはどうなのかなというふうに思いました。

これは意見です。

○委員長（子籠敏人議員） この点について少しありますか。辻委員、どうぞ。

○委員（辻よし子議員） 意見というと、具体的に意見は今、議員定数についてということと、それから委員会構成についてとあって、そこにそれぞれの意見が出ていますよね。その中にいれるということになってしまいますよね、別立てにしないとなると。それはなかなかちょっと難しいのではないかな。要するに議員定数を何人にするのがいいのかということの、議員定数は何人がいいか、その根拠はという意見の出し方ですよね。それから、委員構成はこうすべきでないか、その理由はという、そういうことなので、その中にいれ込むというのはちょっと難しいかなと思うのですけれども。

○委員長（子籠敏人議員） たばた委員、どうぞ。

○委員（たばたあづみ議員） 具体化しなかったということでおれば、委員会の構成とかについても、5、5、5、5とか実現しなかったこともあるわけで、具体化しなかったからという話だけにしてしまうと、全体の意見をきちんと入れていくというところには合わなくなってくるかなという気がしています。

あと、アンケート、もちろん具体化しなかったのは確かなのだけれども、ほかのところに混ぜてしまうと、このアンケートについて皆さんちゃんと意見を出し合って、議論してくださっていることなので、それはそれで、こういうことでやったほうがいいんじゃないのとか、やれる方法はないだろうかということをいろいろ模索したけれども、そこには至らなかつたよというところで、できなかつたというのを書くことも、それは結果の報告として意味があると思うので、そこは一つ項目として別立てにしたほうが読む人にも分かりやすいと思います。

○委員長（子籠敏人議員） という御意見もありました。どうでしょう、皆さん的に。両方今あるところですが、どう取り扱おうかというところで、委員の方の意見が少し聞きたいかな。

しょうじ委員、どうぞ。

○委員（しょうじさとし議員） アンケートについては、やはりしっかり時間をかけて取り組んだ部分だと思いますので、別立てで載ったほうがいいのかなと思いました。先ほどのこの会議の前の会派代表者会議でも、市民ポストに市民の方から議員定数に対する考え方に対して意見が寄せられたというお話をありましたけれども、そういったことも踏まえる

と、アンケートにしっかり着手しようとしたという議会の取組というのを示したほうがいいのではないかなと思います。

○委員長（子籠敏人議員） 中村のりひと委員とかどうですか。どうぞ。

○委員（中村のりひと議員） アンケートね。6ページの調査・研究事項のところに確かに入っていて、載せるとなると結構な分量になると思うんです。ちゃんと載せるというのが、いろいろな意見が出たからアンケートを載せるとなると、僕が考えるには、多分ほかの4番とか、検討結果に至る経緯とかよりも、載せようとすると大変なんじゃないかなと思うんです。ただ単に検討しましたというだけで終わるところではないじゃないですか。そう考えると、載せてもいいと思うのですけれども、どう載せるのかみたいなところはなかなか難しいなということがあります。それをずっと考えていました。

○委員長（子籠敏人議員） 国松委員、どうですか。

○委員（国松まさき議員） 全体のこの報告書は、簡潔でよくまとめていただいているなという感じがします。いろいろ12回議論を重ねてきた中で、これだけ簡潔に意見を抽出してまとまっているというのはすばらしいなとは思います。

そういう中で、アンケートのことも話してきましたが、この簡潔さがちょっと損なわれちゃうかなという感じもしますし、議員定数に関する本質的なところは入れていただいているので、アンケートに関して結果的にやれなかつたというのもあるのですけれども、入れなくてもいいかなと僕は思っています。

○委員長（子籠敏人議員） 副委員長、いかがいたしましょう。

○委員（増崎俊宏議員） 私的には、アンケートについて協議しましたけれども、ここに載せていないという意図も分かります。ただ、この報告書を市民の方が見られたときに、我々の意見も聞いてくれなかつたのかというふうな声が出る可能性もなきにしもあらずで、そこはしっかり議論して検討したのだけれども、たしか議論のときには、アンケートの信憑性とかそういう議論もあって断念したというような経緯もあったかと思うので、その辺のところを極力簡潔に載せる分には問題ないのではないかなというふうには思います。(3)の議会改革の推進についても3行でまとめてくださっていますけれども、それでまとめろとは言いませんけれども、どういった議論をして、どういった理由で断念しましたと、やらなかつたんだということが分かるような内容というのは載せてもいいんじゃないかなというふうには思います。

○委員長（子籠敏人議員） 皆さんからありがとうございました。

そうしたら、今伺っている中では、端的に載せたほうがいいだろうというふうな御意見のほうが多かったなというふうに受け止めているのですけれども、皆さんそのところで御理解、一致点を見いだせるなら。内容とかは、なるべく今、副委員長からもあったような端的さというところでまとめられるかどうかというところなのですけれども、その方向でよろしければ、次に向けて案文とともに考えてみたいと思うのですけれども、中村一広委員と国松委員とか、御意見あればどうぞ。

○委員（中村一広議員） 意見とかを全部網羅するような形で載せるのは、私はあまりよくないかなと。今、増崎副委員長がおっしゃったように、端的に載せるのであれば、それはそれでいいとは思うのですが、ずらずら意見を、いろいろな意見が、こんな意見も出まし

た、あんな意見も出ましたというような載せ方でなければいいかなとは思いました。皆さんの御意見をお伺いして。

以上です。

○委員長（子籠敏人議員） 国松委員、どうぞ。

○委員（国松まさき議員） 私も増崎副委員長がおっしゃるように、そういったシンプルにアンケートを検討して、こういった理由でできなかつたということを最後のところとかに書くぐらいであればいいのかなと思います。

○委員長（子籠敏人議員） ありがとうございました。

最初に切り出してくださった辻委員とかからも、長くならない程度にというふうなお話もあつたりしたし、その辺はちょっと考えてみますので、今、皆さんおおむねよろしいかなというふうに言ってくださったというふうに受け止め、理解していますので、そのような方向で、ちなみに場所としては、辻委員からも御提案があった（3）の議会改革の推進についての前のところに、（3）として新たに立てるというふうな方向で考えてみたいなというふうに思いますが、よろしいですか。

（「はい」と発言する者あり）

○委員長（子籠敏人議員） このところは皆さんその程度で大丈夫そうですか。ほかに御意見とかがある方はいますか。

辻委員、どうぞ。

○委員（辻よし子議員） 項番4のところ、検討結果に至る経過というところなのですけれども、検討結果に至る経過というのが、検討結果に至る経過と言うと時系列的に書くようなイメージがあるので、ただ、ここはそうではないかなと思いますので検討をお願いします。

○委員長（子籠敏人議員） という御意見がありました。皆さんがどう思われるか。そんな方向で、経過という単語が入っているので、ちなみにこれを入れた心は、それぞれの（1）の議員定数についてのところも5月12日というふうな日付を打っていたりとか、委員会構成についても8月7日の委員会のこととかに触れたりもしていたので、そういうふうな表現も入れさせてもらったのですけれども、御意見的には、意見を皆さんのが並べさせていただいているので、例えですけれども、今、検討結果に至る経過のところを、検討結果に至る主な意見とか、そうするとこのような意見が出ましたというので分かりやすくなるかもしれませんので、どのような表現とかを少し考えさせていただこうかなというふうに今思いましたけれども、皆さん的にもそのようなことだというふうなことでいいですかね。そんなふうに思われているということですかね。

分かりました。

あとほかにはありますか。どうでしょう。

なお、なければ、私のほうから、少し前に戻って、先ほどたばた委員から出た御意見の中で、議事録を1回読み返して、少し自分の言葉のところ、表現も確認したいというお話がありましたので、これまで必要に応じて議事録を見られて、確認されてきた方もいらっしゃると思うのですけれども、今回、事務局のほうにお願いをして、これまでの委員会の議事録を確認しやすいように、サイドブックス中とかにフォルダを、この特別委員会のフォルダの中にさらに議事録のフォルダをつくってもらって、そこにまとめて入れてもらって、

確認しやすいようにというふうにさせてもらえたると思っているのですけれども、事務局的に大丈夫ですか。次長、大丈夫だったら大丈夫と言ってください。

○議会事務局次長（吉崎淳二君） 大丈夫です。

○委員長（子籠敏人議員） だそうなので、そのようにさせていただきたいと思いますので、御確認いただいて、このようにできたらなというふうなことを次の委員会のときに、それぞれ自分のところとかを見ていただいて、御提案もいただいて、みんなで確認して、よければそのように直そうというふうに進めたいなと思います。

辻委員、何かあればどうぞ。

○委員（辻よし子議員） 自分の文章をこんなふうに直したいというのを、次の委員会でその場で口頭で言っても、何かちょっとえってなってしまうかと思うので、前日までもいいのでお互い出して、事前にざっと読んできたほうがいいのかなと思うのですけれども、そう言って次いつでしたっけという。だから、もしできればそのほうが。当日でもいいですけれども、とにかく文章がないと難しいと思うので、その辺お願ひします。

○委員長（子籠敏人議員） 分かりました。そうしたら、今の御提案についてのところだけ確認しましょう。次に委員会を予定している日は、前回確認させてもらっているよう、11月17日月曜日の午前9時半からの予定です。今のこと、前日だと16日の日曜日とかとなるのですけれども、事務局とかは当然お休みもあるので、どういうふうに流すかとかにもよるのでありますけれども、例えば事務局経由で上げてもらうとかサイドブックスに入れてもらうとなると、平日だと14日の金曜日になるのですけれども、14日がそもそも事務局がどういう体制かとか。

○委員（中村一広議員） 通告が終わった後だもんね。

○委員長（子籠敏人議員） それか、次なる手だと、事務局を経由しないで出すということで、ラインワークスでいつも開催通知とかを流させてもらっているので、そこにそれぞれの委員が流すと。当然、委員会を始めてその場面になったときには口頭でも改めて言ってもらって、記録の関係とかもあるので、そういうふうなラインワークスでやる方向でみんなはいい感じ。それはできないとかないよね。大丈夫だよね。事務局もそれでいいですか。何か気になるところはありますか。

次長、どうぞ。

○議会事務局次長（吉崎淳二君） 当日の資料としてサイドブックスに入れるのであれば。入れなくて大丈夫ですか。ラインワークスを見ながらでいいですか。

○委員長（子籠敏人議員） 大丈夫だと思うよ。事務局の手を煩わせないほうがいい。

○議会事務局次長（吉崎淳二君） 預かって入れてもいい。

○委員（中村一広議員） 一番忙しいときなんだから負担かけないほうがいいよ。

○委員（たばたあづみ議員） ラインワークスだったらタブレットで見られるので。

○議会事務局次長（吉崎淳二君） 大丈夫ですか。

○委員長（子籠敏人議員） 今、事務局からも、資料として用意しなくて大丈夫ですかという温かいお声がありましたけれども、それは自分たちでやろうというところでいきましょう。では、そのようにさせてもらいます。

4のところまでを終えて、最後は、5はこれまでの開催してきた時系列、6は委員の名簿に

なっています。こここのところは特段変えられる余地とかなかなかないかなと思うのですけれども、これの並び方で大丈夫かというところですけれども、いいですか。5と6のところ、気になるところありますか。

辻委員、どうぞ。

○委員（辻よし子議員） ちなみに、この議員定数に関する特別委員会の委員会名簿の順番って、どういう順番なんですか。

○委員長（子籠敏人議員） 議席順じゃないですかね。

○委員（辻よし子議員） 議席順なのか。

○委員（増崎俊宏議員） 偉い人からかなと思った。

○委員（辻よし子議員） その辺は今までの習わしにお任せします。

○委員長（子籠敏人議員） ほかにはどうですか。大丈夫かな。

では、今日のところはこの程度で大丈夫ですかね。

（「はい」と発言する者あり）

○委員長（子籠敏人議員） では、皆さんからも今日のところはよろしそうですので、(1)の報告書についてを終了いたします。

———— ◇ ————

○委員長（子籠敏人議員） 次に、協議事項、(2)その他に入りますが、皆さんから何かありますか。

（「なし」と発言する者あり）

○委員長（子籠敏人議員） それでは、その他を終わります。

———— ◇ ————

○委員長（子籠敏人議員） 次に、日程3のその他に入りますが、皆さんから何かありますか。

（「なし」と発言する者あり）

○委員長（子籠敏人議員） なければ、私のほうから、先ほども出ましたけれども確認で、次の委員会の開催日についてです。

次回は、11月17日月曜日午前9時30分から開会したいと思いますが、よろしいでしょうか。

（「はい」と発言する者あり）

○委員長（子籠敏人議員） では、そのように決定をさせていただき、次回は11月17日月曜日9時30分から開催することに決定しました。

では、以上をもちまして、本日の議員定数に関する特別委員会を閉会といたします。

本日も御協力ありがとうございました。

お疲れさまでした。

午後 4時11分 閉会

———— ◇ ————

あきる野市議会委員会条例第29条の規定により、ここに署名する。

委員長 子籠敏人